

【概要】

住宅取得に係る消費実態調査(2014年度)

I 調査の概要

住宅取得に伴う耐久消費財等への支出の動向及び消費を取り巻く環境等に関する見通しを調査したものです。(回答数:1,168件)

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 一戸建て(新築)1世帯当たりの耐久消費財購入額は201.0万円<p.4>

住宅建築・購入後、概ね1年以内に購入した耐久消費財の平均金額は、

- ・「一戸建て(新築)」:201.0万円
- ・「建売住宅」:105.1万円
- ・「新築分譲マンション」:85.9万円
- ・「中古住宅」:71.1万円

となった。

2 「カーテン」の購入世帯比率が高い<p.6>

品目別に購入世帯比率をみると、「カーテン(58.2%)」が最も高く、次いで「照明器具(55.3%)」、「ルームエアコン(37.2%)」、「じゅうたん・カーペット(34.3%)」、「ベッド・ソファークラッド(31.3%)」が続いた。

3 品目によっては、世帯主の年齢が上がるほど1世帯当たり平均購入額が高くなる傾向 <p.8、9>

1世帯当たりの平均購入額が上位の品目のうち、「カーテン」、「ベッド・ソファークラッド」、「応接セット」、「食堂セット」、「ルームエアコン」、「照明器具」、「電気冷蔵庫」、「温水洗浄便座」及び「門・へい(垣根)」の1世帯当たり平均購入額は、世帯主年齢が上がるにつれ、高くなる傾向があった。